

きずな

第19号

平成23年1月15日発行



まちサポ所長 黒川有呂

平成23年の 年頭に 当たって



まちづくりサポートセンターは、多くの方々の支援とご指導で何とか3年目を迎えることが出来ました。心から感謝申し上げます。しかし、住民の皆様の認知度はまだまだです。本年も所員一同頑張りますのでよろしくお願ひします。

① 住民の認知度を高める為に次の活動の充実を図りたいです。

- ・ 未来塾の充実
- ・ 広報活動の推進
- ・ まちサポイベントの実施

② 町、各種団体、企業との連携の強化を図りたいです。

- ・ 交流サロンの充実
- ・ 町、各種団体、企業との連絡会議の立ち上げ

③ まちサポを拠点にして発足した活動の支援と運営基盤の確立を図りたいです。

- ・ お助け隊の活動支援
- ・ 児童館設立準備活動支援
- ・ 人材開発と研修助成事業への積極的参加

今迄も小さな一歩ですが着実に進めてまいりました。これから活動の輪を広げて行くには多くの方々のご支援が必要です。本年もよろしくお願ひします。

一年の計は元旦に有り

まちづくり未来塾で、ライフワークみつけませんか？

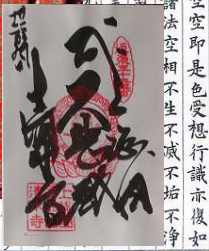
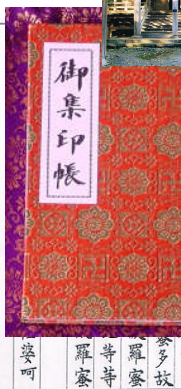
写経会を受講してお寺巡り

板東三十三観音の内の三十二番札所の清水観音（いすみ市）へ、納経に行つて来ました。納経して、御集印帳に印を押していただきました。写経を始めて2年、四十八歳にして初めての経験です。今迄は、机に向かつて写経を書くだけでしたが、こうして納経してみると、これからのお稽古の励みになります。

この日のお昼は、御宿の「幸七」という古民家のお店で、手打ちそばをおいしくいただきました。

月に一度のお稽古に、時々お寺を巡って納経しながらの写経会。私のライフワークの一つになりました。

あなたも一緒に写経会しませんか？



摩訶般若波羅蜜多心經
觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
色即是空空即是色受想行識亦復如
不滅是故
古身意
識界元
摩訶
般若
心經

大網白里まちづくりサポートセンター

理事・副所長 三澤 清隆

中間支援組織の機能と役割には、地域の市民活動団体の支援、ネットワークの形成と、社会資源・人材育成に関する活動、情報の提供と共有などがあります。これらの活動には、行政、NPO 法人との「協働のまちづくり」を図った事業もあって特徴的でした。

今年は、advocacy「政策提言運動」を推進し、中立的な立場から持てる機能を活かすよう努めたい。

相変わらず閉塞感がぬぐえない状況が続いています。一方気候変動の表れが厳しい天気が頻発しています。ゴマメの歯軋りであつても生き方、地域の元気を模索してゆく年にしたいと考えています。

理事 田邊 宏雄



「まちサポ」設立3年目の年、毎週の打ち合わせ・検討会を重ね、人材育成講座や町の活性化につながる事業を続けている結果、活動実績の評価に合わせ知名度も徐々に上昇、町の広報紙に固定欄を設けていただく等、町にとつても必要な「まちサポ」への成長過程にあります。今年もスタッフ・関係者が創意と英知を結集し、『住みよいまちづくり』に向け躍進する中の一員として挑戦したいと思ひますので、みなさんよろしくお願ひします。

理事 後藤 正義



理事 平野 由美子

昨年はいくさんの事にチャレンジした1年でした。今年も目標に向かって、一つ一つの事を丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

理事 林 正清子

皆さま、善きお年、善きご縁で今年もよろしくお願ひいたします。

新町政の下まちサポの飛躍に私なりに貢献、行政との協働も更に具体化、浸透し開花の年を願ひ、繋ぎ合う役割を果たしたいと思ひます。それぞれの分野で活躍されている団体・個人の連携をどう活かし合うかも課題です。多くの方々の知恵と力を引き続き募り、福祉活動に於きましては福祉ネットの新しい形の繋ぎ合いを続行、個人では地域の最新ループホーム作りの具体化目指して進みます。

理事 八角 榮子

ありのままに・・・

ひまわりネットの取り組み
女性のみが会員になれるひまわりネットの今年の活動は、『男女共同参画』について取り組んで行こうという事になりました。誰もがわかりやすく、簡単に理解できるようにするために、一緒に活動しませんか？

理事 野老 真理子

どんな時も問題を持った人が唯一の解決者！を合言葉に、身の回りに起こる色々な課題を真正面から受け止め、自分たちでできる事は出来る限り自分たちで頑張れるそんな成熟した市民集団をつくって行きたいと思つています。今年はどうな出合いや出来事があるか・・・わくわくします。

監事 武井 實

「市民グループ活動の活性化と地域づくり」を目指す。

○何か共通の目的を持って集まる人の集団、これが市民活動の原点です。

○その目標は、公序良俗（社会的に認められた道徳観）に反しない限り、自由。

○市民活動は、自由に楽しく行動できるもの。：しかし、現実には難しい。

○そこで、地域づくり、まちづくりが必要不可欠となります。

○勇気と忍耐のもと、健康を保持しつつ思いやりの心で奉仕したい。

エコパーク大網白里こども村 上総掘りのやぐら完成!

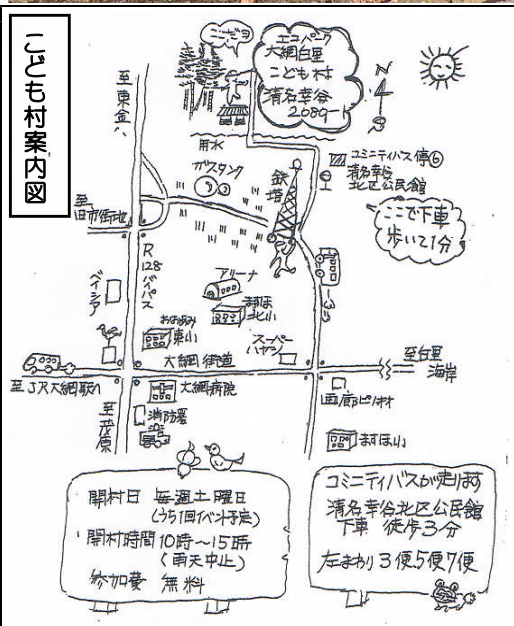


一月二十二日(土)

上総掘り体験会実施

千葉県地域活性化プラットフォーム事業・山武郡市から助成金を受けて運営してきたこども村の、今年一番の活動は上総掘りでの井戸掘り体験を実施する事でした。井戸を掘る場所だったり、準備する人を集めるのが大変だったり、問題が多々ありましたが、ようやく一般の方の体験会を開くところまでできました。

上総掘りは江戸時代後期に上総の国に伝わった掘り抜き井戸の代表的な工法で、その技法は重要無形民俗文化財に指定されています。人力のみで五百メートル以上の掘削が可能で有ることから、開発途上国への技術指導が行われ、テレビでも紹介されていますが、



参加賞をもらって



こども村で遊ぶ子ども達
こども村は、自分の責任で自分で考えて遊ぶ事が基本的なルール。

残念ながらその事実を知る方はこの辺りでもあまりいません。そこでこの技術を子ども達に伝えたいと考え、こども村で実施する事にしました。
来年度から、各小中学校に連絡して、体験授業を行ってもらえるように働きかける予定です。今年は、その前段階として、一般の方を対象に体験会を実施します。体験希望の方は、こども村開村時間内にお願ひします。

第1回

つまみ食いウォーク 大成功!

まちみがき人材パワーアップセミナーの受講生の企画による、第1回つまみ食いウォークが、昨年末の十二月二十五日に行われ、たくさんの方の参加がありました。当日は、大網高校の笑店が開かれ、まちサポ祭りも開催、さんさん通りは大賑わいでした。

十一時、まちサポ前を出発し、高野新聞店さんや綿文さんなど全二十六店舗を、それぞれのお店で少しお話を伺いながら一時間かけて巡る趣向。参加した方ほとんどが、普段は大型店舗で買い物をしており町中の商店に入るのに一人では・・・という方達なので、この機会に商店のことがわかって良かったと、楽しんでいた様子でした。

まちみがき人材パワーアップセミナーでは、四つのグループがそれぞれの活動を通して、町おこしにつながることを願って活動しています。町の情報発信を考えたグループでは、先日町の飲食店を紹介した「あみなび グルメ特集号」を発行しました。まちサポに置いてありますのでご利用ください。二月には、成果報告会を行う予定です。

まちづくり未来塾のご案内

☆未来を織りなす手づくり塾(編み物教室)

毎月第2金曜日 10:00~12:00

毎月第4木曜日 10:00~12:00

講師 麻生 祐子先生

受講料 1回300円(材料費別)



☆パソコン教室

毎週月曜日 13:00~15:00

講師 杉本 義光先生

受講料 1時間800円(人数割り)

※パソコン持ち込みOK

初心者・お困りごとなど、それぞれのレベルで学習できます。



☆クラフトバンド手芸教室

毎週火曜日 13:30~16:30

講師 白鳥 徳三先生

受講料 1回500円(材料費別)

※必要な道具については、お問い合わせください。



☆切り絵教室

毎週火・金 10:00~12:00

講師 菅原 光雄先生

受講料 1回500円(材料費別)

※好きな曜日をお選びください。



まちづくり未来塾を受講希望の方は
事務局にお申し込みください。

1・2月のイベント情報

👉 1月22日(土) 10:00~15:00

エコパーク大網白里こども村

上総掘り体験会実施 一般の方参加できます。

👉 1月29日(土) 13:30~16:00

『まちづくり講演会』

関幸子さん講演と市民活動の紹介

大網白里町保健文化センター 3階ホール

👉 2月12日(土) 13:00~15:00

まちみがき人材パワーアップセミナー

成果報告会

大網白里町中央公民館 視聴覚室

※詳しくは、まちサポ事務局までお問い合わせください。

一月七日の朝に無病息災を願って七草粥を食べる風習があります。お正月のごちそうやお酒で疲れた胃腸を休ませ、ビタミン豊富な青菜で栄養バランスを整え、平常の食生活に戻す区切りとして食べるものなのですが、最近のご家庭ではあまり作られていない様子です。これは、五節句の一つの風習になります。日本では、おせち料理に始まり、七草粥、鏡開き、小正月の小豆粥など、

お正月のきり絵

から神様を敬う風習を大切に出来ました。我が家では子どもを育てるとき、日本人の情緒豊かな心はこんな習慣から育まれるのではないかと思います。特に気を遣っていません。子どもを育てるときには、その地方の風習・習慣を伝えることも、大切な大人の役割ではないのでしょうか。普段は、簡単にすませてしまいがちな食事も、その折々で食の意味を話しながら、家族で過ごしたいものですね。



昨年末より「したいこと、しなければならぬこと」が山積みです。まちサポに来られる方々に助けられながら、一步一步進んで行きたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

事務局長 鵜澤 司子

大網白里まちづくりサポートセンター

大網白里町大網 32-3

http://machisapo.net

TEL/FAX ; 0475-72-8278

E-mail:info@machisapo.net